

第10回 けん玉道関西グランプリ2012 大会要項

- 目的 けん玉界の頂点「第34回全日本けん玉道選手権大会」に向けて、関西グランプリを決定し、全日本選手権大会に向けての課題を明確にし、けん玉の技術向上と精神力を鍛え、個々の課題を明確にする
- とき 2012年4月21日(土) 受付13時00分 開会13時半～17時
- ところ 市民交流センターにしなり
〒557-0025 大阪市西成区長橋2丁目5-33
【最寄駅】 JR環状線「今宮」下車 南へ10分
地下鉄四つ橋線「花園町」下車 北西へ15分
- 主催 日本けん玉協会関西総支部、大阪けん玉道場
- 参加費 一人1000円
- 参加資格 関西地区(2府4県)在住、小学5・6年生以上のけん玉協会会員。非会員、または愛好者で、式段以上の実力を持ち「けん玉日本一」に向けて挑戦し、将来の「全日本選手権大会」を目指そうとする人ならだれでも参加可能。
- 持ち物 協会公認けん玉、筆記用具、その他

《試合方式説明》

- ・日本けん玉協会認定段位を持たないものについては、事前に実力検査を行ない、式段以上の実力を認められた場合、大会に参加できる。
- ・予選は大会選技①～⑫の12種目2回制の計24点満点の得点制方式。
- ・予選得点順に、上位8名(1位～8位)、下位8名(9位～16位)が決定され、それぞれの上位、下位の決勝トーナメントに進出する。17位以降は敗退となる。
- ・けん玉は、日本けん玉協会の公認けん玉(新富士、新さくら、TK16Master、夢元、大空)を使用すること

《けん玉検査》

- ・日本けん玉協会「規程集」を参照下さい。
- ・使用けん玉は、できるだけ新品の品質を保持しなければならない。
- ・玉の穴は、原型を保持している。
- ・けん玉にキズ、破損、再塗装、修理、加工等がある物は使用できません。
- ・その他、使用けん玉の試技の成否に影響すると判断される、キズ、カケ、破損等は、審判団で協議し使用の許可を決定する。

《予選・得点制競技》

- ・予選開始前にけん玉検査を行ない、合格したけん玉を使用する。

- ・第一次予選のみで、二次予選（敗者復活戦）は行わない。
- ・大会選技①～⑫の12種目を2回ずつ行う
- ・各試技1回の成功につき、1点とする（合計24点満点）
- ・各試技は主審の「はじめ」の合図を聞いてから15秒以内に開始し「それまで」の合図（「はじめ」から40秒）があるまでに技を完了しなければならない
- ・各選手の試技は、審判の選手が「成功」及び「失敗」を判定した瞬間に完了する
- ・「はじめ」の合図の前に試技を行なった場合、その試技は失敗とする
- ・「はじめ」の合図から15秒以内に試技を開始しなかった場合、その試技は失敗とする。
- ・「それまで」の合図までに完了しない場合、その試技は失敗とする。
- ・「それまで」の合図と、審判の判定が同時であった場合、審判の判定を優先する。
- ・「それまで」の合図は、全員の試技が40秒以内に完了した場合は行なわない。
- ・試技が別の選手の試技により妨害された場合、やり直しを求めることができる（選手により主審・副審・大会スタッフに合図を行うこと。勝手にやり直さないこと）
- ・予選得点が同点の場合は、以下の方法に基づいて順位を決定する。
 - （1）各種目の1回目の合計得点が高い人が位とする。
 - （2）同点の場合は同順位とする。

《決勝・トーナメント戦》

- ・得点順位の高い上位8名が決勝トーナメントに進出。
- ・予選順位の上位から順にくじ引きを行ない、トーナメント表の位置を決める（同順位の場合、年少の選手からくじを引く）
- ・先攻後攻については、トーナメント表の左側の選手を先攻とする。
- ・選技は、各クラス規定の①～⑫の種目からくじ引きで決める。
- ・1回戦と準決勝戦については、4本勝負（2本先取勝ち）
- ・決勝戦については、6本勝負（3本先取勝ち）
- ・各試合、0対0、1対1、2対2と規定の本数で同点で勝負が決まらない場合「タイム競技B」で勝負を決める。
- ・主審の「はじめ」のコールの後、15秒以内に試技を開始すること
- ・主審の「はじめ」のコールの後、40秒以内に試技を完了すること
- ・上記2項目に違反した場合、その試技は失敗とする。
- ・くじとトーナメント表の配置については、当日発表する。

《表彰》

- ・上位入賞者「優勝者」「準優勝者」「第3位」表彰状とメダルを授与する。
- ・下位入賞者「優勝者」「準優勝者」「第3位」は、表彰状のみとする。

《その他》

- ・けん玉(予備も含む)、上履き(必要な場合)などが必要。
- ・当日の飛び入り参加や見学は自由です。

《連絡先》

この大会に関する質問、お問い合わせは下記まで。

日本けん玉協会 関西総支部

総支部長 矢野博幸 (Tel) 090-8533-8403 (E-Mail) 2009kendaman@gmail.com

けん玉道関西グランプリ大会選技

- ① 二回転飛行機
- ② つるし一回転飛行機～はねけん
- ③ うぐいすの谷渡り
- ④ つるし一回転灯台～とんぼ返り
- ⑤ 宇宙一周～地球まわし
- ⑥ ろうそく返し
- ⑦ 二回転灯台
- ⑧ 宇宙遊泳
- ⑨ すべり止め極意
- ⑩ 円月殺法
- ⑪ (変動種目1) 皿同一周
- ⑫ (変動種目2) はやて落とし

☆技の説明（詳しくはルール解説を確認すること）

○ろうそく返し

ろうそく(前ふりでもうらふりでもよい)を完成させ、そこからけん玉全部を空中に上げてけんをつかみ、玉をけんにさす技。

○宇宙遊泳

けんを持って振りながら空中に投げ上げ、けん玉を空中で1回転させて玉をつかみ、そこから飛行機を行なう技。

○円月殺法

けんを持って振りながら空中に投げ上げ、けん玉を空中で1回転させてけんをつかみ、そこからふりけんを行なう技。

○変動種目⑪【皿同一周】

けんを持ち、つり下げた玉をはじめに「小皿」の乗せ「けん先」～「大皿」～「うらけん先」～「小皿」～最後に「けん先」に玉を入れる技。玉は皿胴のまわりを一定方向に一周するように乗せていくこと。(大皿～けん先～小皿～うらけん先～大皿～けん)の順でもよい。

○変動種目⑫【はやて落とし】

けんを持ち、玉を前方に振り出し空中で玉とけんが糸を張った状態で、1/4回転(玉-糸-けんの重心を中心とみなす回転)させ、けんを離して素早く玉をつかみ「飛行機」のように返ってきたけんの先を玉の穴に入れる技。

※けん先、皿胴を持つてはいけない。玉を取った時「飛行機」のように糸の張りを使ってけんを振り上げてはならない。「すくいけん」や「一回転飛行機」にならないこと。※けん玉通信196号「第34回全日本けん玉道選手権大会」変動種目(参照)